

初めての電車通学で何本も見送らないと乗らなかった。山線の混み具合に驚きました。時間割決めで何日も悩みました。いや審判で真っ黒に日焼けしました。サラリーマンの悲哀を感じる立ち飲み屋さんでアルバイトしています。テニス部では球拾いが好きなんだけ寝坊したり、遊んだり出来るかと思つていました。今は、日々忙しく過ごしています。今までも日に追いつくテスト期間で課題やレポートを幅広く学んでいます。これまで目にすることがない専門用語などを覚えることに日々苦戦しています。しかし、自分が学びたいことを学んでいるため、楽しく授業を受けています。さて、二〇二〇年の春、新型コロナウイルス感染症により世界状況が一変しました。私たち三十八回生は母校となる美和高校に入学しました。先生方は限られた範囲の中で最大限の可能性を模索して頂きました。私たちも、コロナ禍にもかかわらず、三年間体育祭や文化祭を経験することができました。そして、修学旅行にも行くことができました。ふりかえってみると、私たちの三年間は、仙台育英高校・須江航監督の言葉『青春つて密』とは直逆の『密』とは無縁な時間だったかもしれません。しかし、尊敬できる部活の顧問の先生や友人達と過ごした何気ない毎日は一生の宝物です。そして、「当たり前なことは何もない」ことを学ぶことができた三年間は、私たち以外は経験することできない貴重な経験となりました。必ず私たちの人生に生きると信じています。今、これ

「人生で一番贅沢な時」



蝦名快音

「夢にむけて」



杉浦胡世音

約半年が経とうとしています。高校卒業して写真を振り返ると沢山の思い出がよみがえります。新型コロナウイルスで様々な影響を受けていましたが、高校生活の三年間はものすごくあつという間で青春そのものでした。今となつては高校の友達と会うことは数ヶ月に一回となりました。が、その一回一回を楽しみに毎日頑張っています。

私は今、看護学校に通っています。コロナも収まりつつあり対面授業を毎日行い、先月の六月には一週間の早期体験看護実習を行いました。今の自分の学びは高校時代とはガラッと変つたものになりました。専門的な知識を身につけるための学習が多くあり、レポート、日々の課題、毎日苦戦しながら同じ夢を持った仲間と頑張りながら生活しています。「苦しさの中にも楽しさ」「楽しさの中にも苦しさ」がありますが、今自分の学びを一生懸命やつてこうと考えています。そして、看護師になるという同じ目標を持つ仲間と支え合い、協力し合いながら、患者さんと目線を合わせながら、多様性を理解出来る看護師を目指してこれからも頑張つて行きます。

さて、後輩にあたる三年生は受験に向けて暑い夏と戦つていると思います。昨年の自分の姿であり、陰なまがら後輩たちの頑張りを応援していくがまた、そして自分が後輩たちから見てあこがれるような存在となるよう日々に頑張つていきます。

最後に、まだまだコロナが五種になつたとはいえ、不安定な状況が続くと思います。しかし、今までと同様に乗り越えていきたいと考えています。皆様も頑張つてまいりましょう。

までできなかつた『青春つて密』な時間を満喫し、人生の夏休みともいえるような有意義な時間を悔いなくすごしていきます。三十八回生の皆さんも貴重な時間を楽しみましょう。

さ。教育は学ぶことを通じて普段の実際の授業で教育現場だからこそ学べることが多いです。主に実習では実際の生徒を前にして授業を行うことは徒と一緒にお掃除時間に清掃したりします。それらを通して学んだことは生徒のことを考えた授業をすることは生徒の重要性と生徒に関わることの大切さです。

生徒のことを考えた授業をすることが出来ない、実際の授業を見にきて下さった先生に「この授業を見にきて下さった先生に一生徒が後から自分で勉強することをうことや一生徒が板書を写して」といふことは机間指導をした方が良い」といふことをういたので、そこで自分がいかにも独りよがりな授業をしていたのかに気付かされてもつと生徒の目線に立つ授業作りをしていかなければならぬと感じました。また、生徒と関わることの大切さに関しては朝のS.T.が始まる前の少しの時間や清掃時間といつた時間を活用しては外にても学級内での人柄や好きしたことと関わることはとても大切だから生徒と関わることはとても大切だというふうを感じました。大好きな母校と感じたところから学級運営をしていく点だけが生徒と関わることはとても大切だ三週間の教育実習は長いため、毎日のように声をかけてくれる生徒が可愛く、私が教師になってしまった。自分自身が出来て初めて先生方に恵まれる時にお世話をうなづいて良ければえんだけとをかいといふことが可愛く、自分が生徒として指導していくださつた先生方の心地よい経験が出来た実習になりました。大好きな母校自分で生徒と接していった。自分たちが生徒としている間に、自分自身が思いました。この三週間で学んだことを生かして、自分自身が思いました。



勝野衣久帆

「教育実習を終えて」



令和5年度

先生方の異動

〈離任された先生方〉

早瀬 浩文	(教頭 数学)	退職	熱田高校再任用
山本 寿美代	(事務)	退職	津島東高校再任用
石田 伸夫	(理科)	退職	
加藤 陽三	(保健体育)	退職	美和高校再任用
水野 朝子	(英語)	一宮西高校へ	
加藤 秀太	(国語)	岡崎西高校へ	
河合 沙耶	(地歴公民)	小坂井高校へ	
阿部 一雄	(保健体育)	退職	美和高校非常勤
佐野 浩史	(保健体育)	津島東高校再任用	
前田 昌美	(英語)	惟信高校再任用	
伊藤裕美子	(事務)	県民文化局文化芸術課へ	

母校だより

〈着任された先生方〉

花木慶太郎	(数学)	稻沢東高校より
早川 翔太	(地歴公民)	海翔高校より
吉原美聖乃	(国語)	豊田高校より
岡村 洋一	(英語)	杏和高校より
小林美千代	(英語)	木曽川高校より
伊藤 駿	(数学)	新卒
佐藤 啓子	(事務)	西三河教育事務所より
伊左治真行	(事務)	稻沢高校より